

東建パブリニユース

平成31年2月22日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成31年2月18日 日経MJ P. 9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

招き人

東建コーポレーション
ウェブ企画室室長代理
西田 貢治さん(49)



社屋に刀剣ファン向け施設

匠(たくみ)の技術の結晶 田貢治さん(49)は「若い女である刀剣は古美術品として、日本人に加えてインバウンド(訪日外国人)も魅了している。東建コーポレーションは社長兼会長の左石田稔さんが収集した刀剣を公開する展示施設を名古屋市の本社ビル1階に開設。展示を担当するウェブ企画室室長代理の西家臣だった本多忠勝の末裔

300振り、槍(やり)と薙刀(なぎなた)が40振り以上に及ぶ。なかでも徳川家康のコレクションは日本刀が約50体以上を展示する。「名古屋の観光名所にするほか、子どもたちが日本の文化を学べる場所に育てていきたい」と意気込んでいた。(名古屋)

尾張名古屋の新名所に

(まつえい)、忠肅伝来の名刀「太刀 銘 則房」は重要美術品に認定されている。

三重県桑名市で運営するホテルで2016年末、刀剣などの展示室を公開したところ宿泊者に好評だった。そこで17年8月に本社で展示するようになると「国内外から刀剣好きが集まる名所になった」という。

20年には「名古屋刀剣ワールド」と名付けた博物館を新設する。延べ床面積3300平方メートル、日本刀200振り、甲冑(かっちゅう)50体以上を展示する。「名古屋の観光名所にするほか、子どもたちが日本の文化を学べる場所に育てていきたい」と意気込んでいた。(名古屋)